

藤井寺市長 岡田 一樹 殿
藤井寺教育委員会
教育長 濱崎 徹 殿

2020年 3月2日

日本共産党藤井寺市会議員団
団長 瀬川 覚
木下 誇

新型コロナウイルス対策に関する申し入れ

新型コロナウイルス感染症は日本中に感染が広がり、市民の不安は一段と広がっています。安倍首相の学校の休校要請でも、一定の理解の声もある一方で保護者らの間では「仕事休めないし、子どもは行くところないし」と不安の声も広がっています。

市としては正しい情報を市民に提供し、感染拡大を防ぎ、市民生活、中小零細企業、商店の安定のためにあらゆる手段を、即時に講じることが求められています。

日本共産党藤井寺市会議員団は、市長と教育長に対し、次のことを緊急に申し入れるものです。

記

- 1、市の電話相談窓口の体制を強化すること。
- 2、国・府とも連携し公的情報を迅速に市民へ伝えるとともに、市独自の情報把握に努め、インターネットを利用できない高齢者・市民にも確実に届くよう徹底すること。体調悪化時の対応マニュアルなど、正確な情報をできるだけ広く市民に周知すること。

- 3、医療機関、介護施設、児童福祉施設、障がい者施設等のマスクや消毒剤など衛生用品の不足状況を調査し、必要があれば提供できる体制を整えること。
あわせて、高齢者、妊婦や障がい者、難病さらに糖尿病、心不全、呼吸器疾患等の基礎疾患のある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方などの市民にもマスクや消毒剤など衛生用品の提供をすること。
同時に感染症対策ガイドラインを丁寧に徹底すること。
- 4、検査希望者のすべてを受け入れる体制を社会全体でつくることのできるよう、周辺自治体・保健所とも連携しながら、府・国への要望を強めること。
- 5、新型コロナウイルス問題による市内事業者への影響を調査し、必要な融資や助成などの支援策を講じること。小規模事業者、商業の町であることに鑑み、商工観光課に相談窓口を設け、電話相談などにも応じること。今ある国や大阪府の融資などの支援策はまとめて丁寧に中小事業者に情報提供すること。併せて、休みを強いられる非正規雇用の方への相談・情報提供を行うこと。
- 6、新型コロナウイルスの影響で、障がい者施設サービスの利用を休む利用者が増えていくことが考えられる。施設の聞き取り等行い、障がい者施設への何らかの支援策を講じること。
- 7、外国人観光客への正確な情報提供と相談対応を充実させること。
- 8、小中学校の休校に対しては、その時期について、状況を十分に見極め、柔軟な対応をとること。
また支援が必要なお子さんに対する十分な配慮を行うこと。
- 9、放課後児童会については、午前中は、入会者だけでなく、少なくとも4年生までの希望者は受け入れ、感染拡大を防ぐためにも、体制は放課後児童会まかせにせず、小学校としても協力体制をつくること。
- 10、市民の命と暮らしを守る観点から、府・国への必要な財政的支援について、近隣自治体とも連携しながら、要望すること。

以上